

事業所名		放課後等デイサービス・児童発達支援」HIKARIE 放課後等デイサービス・児童発達支援」HIKARIE 3rd 放課後等デイサービス・児童発達支援」HIKARIE 5th				支援プログラム（児童発達支援）		作成日		7 年		4 月		1 日					
法人（事業所）理念		・選択肢と可能性に囲まれた社会を創造する ・見えない「障がい」ほど見ようとする ・社会側の配慮の欠如が「障がい」の本質と捉える																	
支援方針		○支援者の専門性 ・特別支援教員免許の中でも最上級である専修免許を所持している職員がいます。 ・大学院で特別支援教育を学んだ者が1名、大学で特別支援教育を学んだ者が1名います。 ・上記の職員が中心となり、他のスタッフに定期的な研修を受講してもらい、適切な支援が平等にできるシステムを構築しています。 ・特別支援学校教諭歴10年以上の職員が2名居るため、学校での課題やどのように進路選択をしていくか教師目線をもって本音で話すことができます。				○活動内容の捉え方 ・お子様を休憩させるという時間ではなく、学校で補えなかった力の育成、お子様の課題にスポットを当てカリキュラムを作成します。 ・定期的に保護者様とのヒアリングを実施し、共通理解を図っていきます。それぞれがそれぞれの考え方ではお子様も混乱してしまいます。学校、家庭、事業所がしっかりと共通した認識をもって支援していきます。				○環境とシステム ・私たちは、環境面に最大限の配慮をします。テナントの狭い1つを借りて提供する事業所ではなく、誰もが通いたくなるような建物を準備しています。 ・開かれた事業所を目指しています。そのために、自社開発アプリーキャンバスーを活用し、活動内容を保護者様が自宅でスマートフォン、タブレットで視聴できるようにします。									
営業時間		学校授業日				9 時		30 分から		18 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		学校休業日				8 時		30 分から		17 時		30 分まで							
		支 援 内 容																	
本人支援	①健康・生活	○基本的生活習慣の習得（①） ・食事、更衣、移動、排泄等の身辺自立に必要な訓練を繰り返し行い、定着を図ります。一人ひとりの課題に応じて、スモールステップで学習を進め、成功体験をより多く積むことができるように支援します。																	
	②運動・感覚	○運動遊び（②・③） ・散歩や外遊び、粗大運動を通じて、体力づくりを中心に一人ひとりの発達の特性を踏まえた身体作りを支援します。学習意欲につながるような「楽しい」「もっとやりたい」という経験をたくさん積み、学ぶ意欲を育んでいきます。																	
	③人間関係社会性	○音楽療法（②） ・気持ちの表現や仲間とのコミュニケーションに音楽を用いながら、子どもの発達を促していきます。歌ったり、踊ったり、楽器を使って楽しみながら、発達を伸ばしていきます。																	
	④言語コミュニケーション	○手先・指先訓練（①・⑤） ・お絵描き遊びや感覚遊び、シール貼り、紐通し、ハサミを使う等指先を動かす遊びを行い、指先を自由に動かす力を養います。楽しい活動をする中で、手先・指先を細やかな動きができることを目指しています。																	
	⑤認知・行動	○読み聞かせ（②・④） ・感情を豊かにしたり、集中力が身に付いたりするように、絵本や紙芝居の読み聞かせを習慣化して行います。支援者も一緒に楽しみながら、絵本に親しむことの楽しさを伝えていきます。																	
		○遊びの時間（③・④） ・まねっこ遊びやおはなし遊び等、年齢に応じた遊びを行います。支援者や友達と一緒に様々な遊びに取り組み、保護者以外の人とのかかわりを楽しむことを支援します。																	
⑤認知・行動		○創作活動（②・⑤） ・粘土や絵の具等の素材遊びを通じて、手指を使うことで発達を促す支援をします。また、表現することの楽しさを学び、「こんな風に作りたい」という創作意欲を伸ばします。																	
家族支援		・定期的な懇談の実施 ・アプリを通してのリアルタイムでの情報共有				移行支援				・園との連携（園への訪問） ・相談支援事業所との情報共有									
地域支援・地域連携		・関係機関連携会議				職員の質の向上				・月に一度の全体研修 ・定期的に行われるグループ会議等									
主な行事等		・季節に合わせた行事等																	